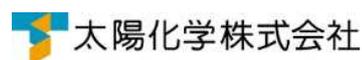


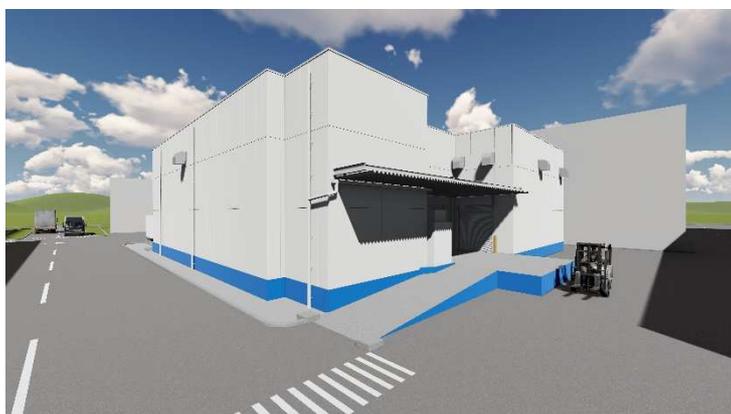
報道関係者各位
プレスリリース



2022年6月7日
太陽化学株式会社

「素材の機能をデザインする」をコンセプトに 粒子コントロール技術を基盤とした ミネラル、ビタミン製剤の新工場を 三重県四日市市に竣工、7月より本格稼働

太陽化学株式会社（本社：三重県四日市市、代表取締役社長：山崎 長宏）は、2022年6月20日、南部工場内に「素材の機能をデザインする」をコンセプトとした各種ミネラル、ビタミン製剤の製造を行う新工場を竣工します。新工場ではIOTやAI等先端技術の導入によるスマート工場にも挑戦することで、高品質な製品をグローバルに供給することを目指します。



■背景

平均的な日本人のミネラル、ビタミン等の微量栄養素は、厚生労働省の令和元年 国民健康・栄養調査および、日本人の食事摂取基準（2020年版）に示される摂取の目安と比較すると、多くの微量栄養素で摂取量が不足しています。

ミネラル、ビタミン等は、不足すると健康の維持が困難になる栄養素であり、昨今の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大以降、注目が集まる免疫機能の維持においても、重要な役割を果たすことから、今後一層の成長が見込まれます。

バランスのよい食事を意識しながら、足りない栄養素をサプリメントや加工食品を通じておいしく、摂取しやすい環境をつくることは、社会から求められている役割と考えます。

■コンセプト「素材の機能をデザインする」

そのままでは吸収されにくい不溶性のミネラル、ビタミン等の微量栄養素を、効率的に私たちの身体に届けることができる独自技術「NDS（ニュートリションデリバリーシステム）」のコア技術は粒子コントロール技術にあります。

この技術は機能性素材が持つ生理作用を活かしつつ、高タンパク飲料、スポーツ飲料、流動食等の飲料や、デザート等幅広い食品への利用を可能とします。

また、ミネラル、ビタミン等の微量有効成分のプレミックス化により、食品製造における微量成分の計量、均質化等の煩雑な処理を軽減し、製造プロセスの改善や稼働の効率化要望にお応えします。

■新工場 施設概要

所在地：三重県四日市市山田町 800 番 太陽化学株式会社 南部工場内

投資規模：約 18 億円

生産品目：ミネラル、ビタミン製剤

生産能力：約 1,900t（鉄製剤として）

建屋概要：延床面積 1,081 m²

■太陽化学株式会社 概要

商号：太陽化学株式会社

代表者：代表取締役社長 山崎 長宏

所在地：〒512-1111 三重県四日市市山田町 800 番

設立：1948 年 1 月

事業内容：乳化剤、安定剤、鶏卵加工品、機能性食品素材等の開発、製造。

資本金：77 億 3,062 万円

URL：<https://www.taiyokagaku.com/>

伝統的な天然素材から、最先端技術を応用した新規素材まで様々な食材・工業用途向素材を取り扱うと共に、研究開発型企业として、無限の可能性を秘めた機能性食品素材の創造に取り組んでいます。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

太陽化学株式会社

担当：マーケティング部 伊藤

Tel：03-5470-6800

E-Mail：support@taiyokagaku.co.jp